

当社車両における輪軸組立作業の点検結果について

当社では、四国運輸局からの指示により、鉄道車両における輪軸組立作業の緊急点検を実施しましたが、外部委託先における検査成績の数値差し替えが確認されましたので、下記のとおりお知らせいたします。

なお、車両については点検の結果、異常のないことを確認しておりますが、ご利用の皆様にご心配をお掛けしますことをお詫び申し上げます。

記

1. 経緯

本年9月12日付で四国運輸局からの通達を受けて、当社の車両の輪軸組立作業に関する検査記録を確認した結果、問題がなかったことを9月24日に四国運輸局へ報告しました。

その後、当社の輪軸組立作業を行っている株式会社総合車両製作所の社内調査により、車輪を車軸に組み込む作業（圧入作業）において、圧入力値が目安値の範囲内に入るように検査記録の数値を差し替えていたことが判明し、9月27日に当社への報告がありました。

2. 点検対象輪軸

当社の営業車両 320軸 80両

（うち、株式会社総合車両製作所が輪軸組立作業を行っている車両 208軸 52両）

3. 点検結果

検査記録の数値差し替えが判明、または元データを確認できない輪軸

- ・ 圧入力値が目安値を下回っていた輪軸 49軸 29両
- ・ 圧入力値が目安値を超過していた輪軸 5軸 4両
- ・ 圧入力値の元データを確認できない輪軸 1軸 1両

4. 安全性の確認と対応

当該輪軸の圧入作業の際には、車軸外径と車輪内径の差（締め代）の管理が適正に行われていること、圧入作業後を含む車両の定期検査時には、車軸の超音波探傷検査の他、車輪間隔の測定管理や輪軸単体での外観検査を実施しており、安全に走行できることを確認しております。また、今回の事象を受けて、車軸と車輪の圧入部の外観検査を重点的に実施しております。

なお、検査記録の数値差し替えが判明した株式会社総合車両製作所に対しては、原因究明と再発防止の徹底を求めてまいります。

以上